

2019 4月

宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100



常設展示室



●●● 展示作品より今月の一点 ●●●
《『坊やとちょうちょ』》



夢中になって遊ぶ子どもの姿が愛らしく、見ていてほっこりする作品です。光と影の華麗な美人画を描いた油彩画の大家として宮永のことをご存知の方は、愛らしい子どもの絵に、同じ画家によるものかと驚かれます。油彩美人画、グラフィックデザイン、書籍の装幀、挿絵といったさまざまなジャンルで活躍した宮永は、水墨画の名手でもありました。この作品の筆でさっと描いたような、

軽妙で無駄がない筆遣いには、水墨画の技法が生かされており、宮永の画家としての幅と力量を感じます。

子どもの着物姿に、郷愁を覚える方もいらっしゃると思います。優しく懐かしい作品をお楽しみいただきながら、美術館でゆっくりお過ごしください。

原画 制作年不明 74.0×56.0

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

宮永岳彦の思い出 ～写真とともに～

名古屋市立工芸学校の図案科に在籍した宮永は、教師が手を取るように教える英才教育を受け、1936(昭和11)年、卒業とともに松坂屋百貨店名古屋本社に入社、宣伝部に配属されました。当時、社員寮で同室であった鈴木正雄(後の社長)は、寮でも寝る間を惜しんで絵を描き続ける宮永の絵への直向な姿を後に回想しています。



1935(昭和10)年 16歳
工芸学校4年生

グラフィックデザイナーとして前途洋々かと思われた宮永でしたが、2度の兵役により、戦後、中国から復員する頃には27歳になっていました。

市民ギャラリーのご案内 入場無料

※3月29日(金)から4月7日(日)まで、市民ギャラリーは統一地方選挙期日前投票所となるためご利用できません。

2019.5月の市民ギャラリー展覧会の予定

秦野スケッチ会展 (仮)	5月1日(水・祝)～5月6日(月・祝)
秦野美術協会 工芸展 (仮)	5月14日(火)～5月19日(日)
第2回水彩スケッチ四季作品展 (仮)	5月21日(火)～5月26日(日)
みなせ・丹沢合同写真展 (仮)	5月28日(火)～6月2日(日)

※4月2日(火)より10月分までの予約を受け付けています。

生誕100年記念特別展 アンケート 「宮永岳彦100年の歩み」結果のご報告

宮永岳彦生誕100年に合わせて開催した特別展にたくさんのお客様が訪れてくださいました。会場で実施したアンケートの結果を抜粋してご報告します。

開催：2月19日(火)～2月24日(日)
場所：宮永岳彦記念美術館 市民ギャラリー
入場者数：261名 アンケート回収数：62件



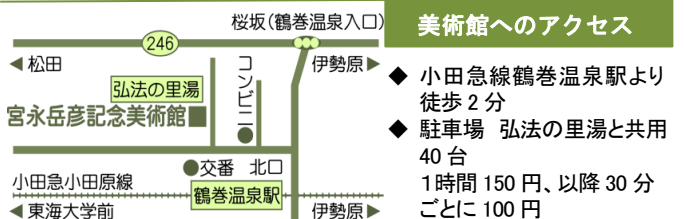
- お住まいは？

市内	42名 (67.7%)	近郊のほか、東京、千葉、静岡など県外の方も来て下さいました。
市外	19名 (30.6%)	
無回答	1名 (1.6%)	
- 今回の特別展を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

広報はだの	19名	広報はだの、タウンニュースを見て来館された方、ぶらりと立ち寄った方も多くいらっしゃいました。
新聞・タウンニュース等	13名	
公共施設のチラシ・ポスター	6名	
インターネット	8名	
紹介されて	6名	
たまたま来館した	14名	
その他	3名	
無回答	1名	
- 展示内容はいかがでしたか？

とても良い	42名 (67.7%)	たまたま来た方を含め、ほとんどの方に楽しんでいただけようです。
良い	19名 (30.6%)	
無回答	1名 (1.6%)	
- 感想・ご意見 (自由回答)
 - ・宮永氏の活躍の概略が良く理解できました。
 - ・とっても偉大な人で秦野の自慢です。

ご協力
ありがとうございました



4月の休館日：1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・30日(火)